



草津学区の健幸かるて (令和7年度版)

【令和7年12月作成】 草津市人とくらしのサポートセンター 地区担当保健師



1. 人口構成と世帯数 (R7.4.30) ※市と比較して区分割合が高い項目に着色

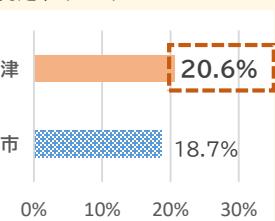
年齢区分	0~14歳		15~64歳		65歳以上		計(人数)	世帯数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
志津	2,482	17.4%	9,318	65.1%	2,505	17.5%	14,305	6,323
志津南	1,275	18.7%	4,012	58.9%	1,527	22.4%	6,814	2,585
草津	1,630	13.6%	7,604	63.4%	2,752	23.0%	11,986	5,817
大路	1,498	12.5%	8,043	67.1%	2,438	20.4%	11,979	5,748
矢倉	1,143	12.0%	6,107	64.0%	2,286	24.0%	9,536	4,489
渋川	1,283	13.4%	6,491	67.6%	1,827	19.0%	9,601	4,625
老上西	1,406	16.1%	5,471	62.7%	1,855	21.2%	8,732	3,467
老上	2,603	20.1%	8,258	63.7%	2,103	16.2%	12,964	5,823
玉川	1,307	10.5%	8,765	70.5%	2,354	18.9%	12,426	6,793
南笠東	735	9.5%	5,128	66.6%	1,836	23.8%	7,699	4,192
山田	929	11.9%	4,492	57.6%	2,380	30.5%	7,801	3,530
笠縫	1,546	13.8%	6,295	56.3%	3,337	29.9%	11,178	4,963
笠縫東	1,593	14.6%	6,466	59.4%	2,827	26.0%	10,886	4,916
常盤	642	13.3%	2,642	54.7%	1,549	32.1%	4,833	1,913
草津市	20,072	14.3%	89,092	63.3%	31,576	22.4%	140,740	65,184

4. 高齢者の状況 (※③は、40~64歳の第2号被保険者も含む)

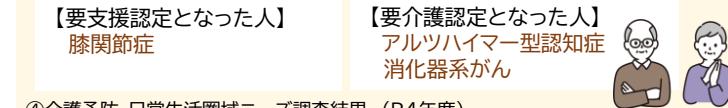
① 単身高齢者の割合 (R7.4)



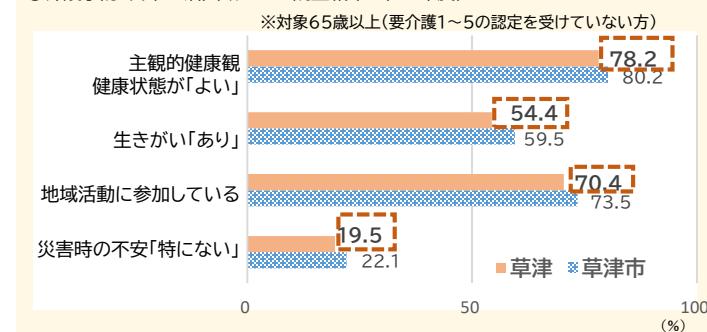
② 介護認定率 (R7.4)



③ 介護が必要となった原因で最も多い疾患 (R1~R2新規申請者)



④ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果 (R4年度)



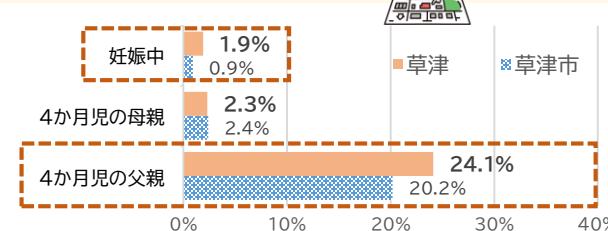
2. 妊娠・出産・子育て (乳幼児健診問診結果)

① 娃児に対する今の気持ちに近いフェイススケールの割合 (R6年度)



フェイススケール	1 2 3 4 5 6					
	1歳6か月児	2	3	4	5	6
草津	50.0%	32.3%	12.5%	1.0%	3.1%	1.0%
	52.4%	30.4%	14.3%	1.4%	1.1%	0.3%
草津市	60.5%	27.7%	8.4%	0.0%	1.7%	0.0%
	65.1%	26.7%	6.7%	0.1%	0.3%	0.2%

② 喫煙状況 (R5~6年度:4か月児健診時)

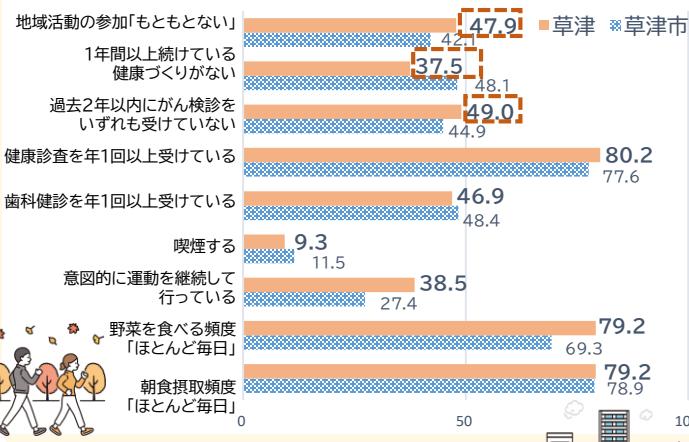


3. からだの健康・生活習慣

① 市が実施しているけん診の受診率推移 (R4~6年度)



③ 健康に関するアンケート調査結果 (R4年度) ※対象18~74歳



5. 地域資源(地区組織活動・社会資源等)

子育てサークル・拠点施設	2か所	スーパー	1か所
地域サロン	13か所	コンビニ	3か所
医療機関	医科:4か所	歯科: 6か所	ドラッグストア
薬局	4か所	町内会	28

地域の目指す姿(目標): 草津学区の住民が、地域の中で役割と生きがいを感じながら、主体的に健幸づくりに取り組むことができる。

地域の特性と健康課題

・高齢化率は市より高く、地域活動がさかんな昔ながらのエリアと、転入者の多いエリアが混在しています。地域の活動の担い手不足という課題も生じています。道が狭く消防車が入れないエリアもあり、災害時の不安の声もあります。

・介護保険新規申請の原因疾患は要支援認定では膝関節症、要介護認定ではアルツハイマー型認知症、消化器系がんとなっており、高齢者が地域とつながりをもち、閉じこもりを予防するような関わりが必要です。

健康課題の解決に向けた取組方針・活動状況

・高齢者が集う場で、健康測定・健康相談会を実施し、フレイル予防などについての健康教育を行っています。また、生活習慣病予防やけん診受診の重要性など、幅広い世代への情報提供や健康教育が行えるよう、地域と連携して取り組んでいます。

・学区社会福祉協議会で地域住民や関係者と集まり、各団体が行う地域づくりの取組を共有し、支え合いや助け合いの活動を進めています。